

# 市民共同おひさまプロジェクトレター

NO.2

発行 かわさき市民共同おひさまプロジェクト

2010年6月16日

～あなたとわたしとおひさまと～

市民共同おひさまプロジェクトは、みんなの「思い」と「お金」を集めて地域の太陽エネルギーの活用する取組を進めています。

プロジェクトの名称変更について  
発足した2007年には「市民共同発電所プロジェクト」でしたが、2010年1月に、第2号機は太陽熱温水器の設置をめざそうと決めた段階で、「かわさき市民共同おひさまプロジェクト」としました。

## 市民共同おひさま発電所 in 川崎市国際交流センター1周年記念講演会 「地球温暖化防止のために市民ができること」

市民、事業者の募金を基にGIACの助成金を活用して、川崎市の協力の下、第1号機を2008年8月24日に設置しました。おかげさまで発電所は、その後、事故もなく発電を続け（発電量については裏面参考）、内外からの見学者を迎えています。遅い報告で恐縮ですが、1周年を迎えた2009年9月5日に枝廣淳子さん（アール・ゴア「不都合な真実」翻訳者・JFS代表）を講師に迎え、記念講演会が開催されました。その様子をお知らせします。枝廣さんは静かな語り口で、COP15における日本の役割についてと、地球温暖化防止のために市民が何をすると良いのかを考えるヒントを与えてくれて、150名の参加者は深い感銘を受けました。レターの紙面の関係から、記憶に留めたいと思うことを記しました。

このまま対策を打たなければ地球温暖化予測の研究データでは、2100年には地球の温度は4℃あがることになるそうです。未来とは予測するものではなく、作り出すものです。どんな社会を作るのか。環境保全と経済の発展が地球規模で両立する社会なら、今世紀末の平均気温の上昇は1.8℃に抑えることができます。しかし現在、CO<sub>2</sub>はどんどん増え続けているから減らして行かなければならないのです。

大事なことは「お上」を待たないで、気づいた人、地域からどんどんやってしまうことです。既に国内86市町村は域内の民生用電力需要を再生可能エネルギーで賄うことができている。自分のエネルギーは自分でつくる。このような考え方に立って市民共同発電所が日本中に広がっています。「私ひとりやったって？」ではなく、小さなものが集まって大きな効果を生み出します。

一人一人が、少なくとも温暖化を進める側には立ちたくないと思っているでしょう。行動する効果を考えることは大切ですがそれより、やること

の「気持ちよさ」を大切にしたいです。やればや



るほど幸せになることをやるに限ります。

みなさんの活動を応援しています。2号機、3号機をつくったときにはまた呼んでいただけたらうれしいです。（文責：プロジェクト）



当日は幅広い方が参加あり、若い方たちも目立ちました。写真の3歳位の男の子は、協賛団体 Make the Rule のシロベアがお気に入りのようでした。「君たちの未来」を明るいものにするために私たち大人も頑張っています。

## 第2号機に向けてご協力を！～川崎フロンターレ麻生クラブハウスに太陽熱温水器設置をめざして

2010年6月16日、キックオフシンポジウムから募金活動をスタートさせます。

市民、事業者、行政のみなさまのご協力により《太陽光》の利用については、2008年夏に太陽光発電所を設置しました。その後、太陽光発電に関する、設備の補助や余剰電力買い取り制度が出来て一挙に広がりを見せています。そこで、第2号機では、《太陽熱》の利用をすすめるため太陽熱温水器設置をめざします。

太陽熱温水器は、太陽のエネルギーの約半分を利用できる優れたものです。また家庭で使うエネルギーの約30%がお湯のためですから、これからは《太陽熱温水器》を使わない手はありません。にもかかわらず、日本ではヨーロッパに比べると普及は遅れていて、早急にすすめるべき課題となっているからです。

設置場所は、川崎市の市民スポーツとなっているサッカーJリーグの川崎フロンターレ麻生クラブハウスとなりました。選手は練習後ここでお風呂やシャワーで汗を流しますが、このお湯を太陽熱利用とし、太陽熱の良さを体験してもらうことが温暖化防止につながると考えました。さらに現在、改修が計画されている等々力競技場が、大規模な太陽エネルギーを利用したスタジアムに生まれかわることを願っています。

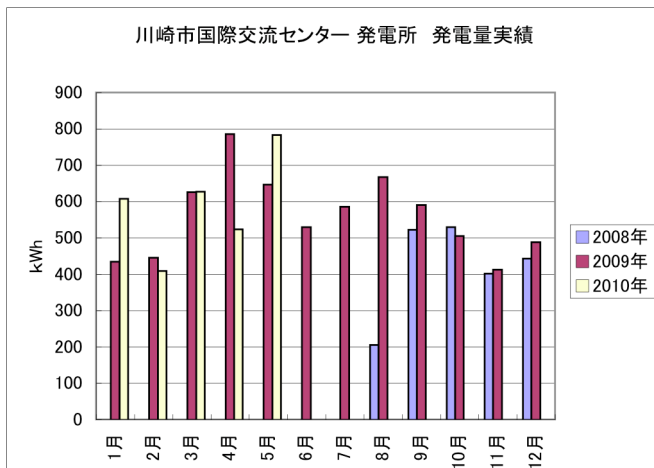
みなさまのご理解とご協力を心からおねがいたします。

### ★ 2号機事業資金（設備）予算：386万円（システム336万円+計測器50万円）

（他に当事業広報活動に限定して、平成22年度東京ガスおうえん基金100万円の助成を受けている）

今回募金200万円+1号機募金繰越金190万円=390万円

なお、このプロジェクトは関係者の理解と協力のもとにすすめています。



#### プロジェクト会議開催記録

2007年11月7日にプロジェクトが発足し、以来、ほぼ1ヶ月に1回開催されてきました。

2009年10月以降開催のものを記します。

2009年10月5日 ・11月9日  
 11月30日 ・12月14日  
 2010年1月6日 ・2月8日  
 3月8日 ・4月5日  
 4月26日 ・5月10日  
 5月31日

#### プロジェクトの主な活動記録（09年9月～10年5月）

- 2009年9月5日 1周年記念講演会
- 9月17日 見学会 中国・瀋陽市環境技術研究生
- 10月10日 現地調査 多摩川せせらぎ館
- 10月27日 見学会 建通新聞社
- 10月31日 現地調査 多摩川大師河原干潟館
- 11月5日 見学会 川崎市新規採用職員研修
- 11月6日 現地調査 フロンターレ麻生クラブハウス
- 11月13日 見学会 JICA（西バルカン）研修
- 11月30日 勉強会 太陽熱温水器について
- 12月9日 見学会 韓国環境産業技術院
- 1月1日 放映 tvk新春特別番組「新たな飛躍へ」
- 1月1日 掲載 市政だより「環境に優しく活力あるまちに」
- 1月1日 掲載 建通新聞
- 1月15日 東京ガス環境おうえん基金申請
- 1月31日 放送 FMよこはま「SWITCH! KAWASAKI」
- 2月 掲載「文化かわさき」31号
- 3月27日 エコフェスタ2010展示参加
- 5月27日 講演 川崎中原ロータリークラブ
- 6月12日 放送 ラジオ日本「かわさきフィーリング」

（見学会とは国際交流センター発電所見学会のこと）

発行・編集 かわさき市民共同おひさまプロジェクト  
 （かわさき地球温暖化対策推進協議会・NPO法人アクト川崎）  
 〒211-0004 川崎市中原区新丸子東  
 3-1100-12 かわさき市民活動センター内ブース2 アクト川崎  
 e-mail: act.kawasaki@gmail.com 電話&Fax 044-42-2-7343  
<http://homepage3.nifty.com/act-ki/>

編集後記：この新しいプロジェクトの活動によって新しい方と一緒に、その輪が広がれば、幸せの輪が広がります。サッカーも温水器も益々人気が高まることを期待して！★国では2009年秋の政権交代から9カ月あまり。世の中を少しずつ変革し、そして市民も参加してすすめる動きは続いていきます。（飯田和子）